

# 「第 14 回 Jichi Joy Café」開催結果報告

## 2021 年度テーマ「お互いの多様性を思いやりながらコロナ時代を乗り越えよう！」

10月6日(水)17:30~18:30にZOOM(リモート形式)で「第14回 Jichi Joy Café」を開催しました。

当日は、当センターの先生方を含めて13名の方にご参加いただきました。

今回は「キャリア継続のための育児事情～子供の預け先どうしてる?～」というテーマで、小形幸代先生の司会のもと、まず最初に、石川由紀子先生、加藤梨佳先生、小形先生からテーマに沿ったプレゼンテーションをしていただき、その後フリーディスカッションを行いました。

1. 開会あいさつ 小宮根センター長
2. プレゼンテーション

### ① 自治医大の保育事情 最近の動き

総合診療部/石川 由紀子先生 (副センター長)

自治医大の保育事情  
最近の動き  
医師研究者キャリア支援センター 石川 由紀子

### 下野市の保育園

区分	施設名	定員	利用状況
公立保育園	1 公立保育園	20	15
	2 公立保育園	20	15
	3 公立保育園	20	15
	4 公立保育園	20	15
私立保育園	5 私立保育園	20	15
	6 私立保育園	20	15
	7 私立保育園	20	15
	8 私立保育園	20	15
認定こども園	9 認定こども園	20	15
	10 認定こども園	20	15
	11 認定こども園	20	15
	12 認定こども園	20	15

保育の希望の有無について

認定区分	対象児童	利用できる施設
1号認定	満3歳以上のお子さんで、保育を必要とせず、教育のみを希望する方	幼稚園
2号認定	満3歳以上のお子さんで、保護者の就労等の「保育の必要な事由」に該当し、保育園等での保育を希望する方	保育園
3号認定	満3歳未満のお子さんで、保護者の就労等の「保育の必要な事由」に該当し、保育園等での保育を希望する方	認定こども園

※1 少人数を対象として、0～2歳の児童を預かる施設での認可を受けたもの。

### 入園審査

2号認定、3号認定を受けたおさまの入園(利用)保育の必要性を客観的に審査する「入所選考」

入園審査の方法は、保護者の就労状況やおさまの状況などを「下野市保育園等入所選考基準」に基づき指数化し、合計指数が高いおさまから入園(利用)者を決定

基本点数：勤務時間など  
調整点数：児童の現在の預け先、兄弟姉妹の入園状況、ひとり親、単身社任、待期間など

### 医師・研究者の育児に特有な悩み

- ✓ 職務によっては早朝、時間外、または夜間も勤務がある  
救急救命センター当直、研究業務、カンファランス、講習会  
手術、回診、外来、業務煩雑化など
- ✓ コロナ感染拡大により園、保護者間の医療者への考え方の変化。
- ✓ 家族(夫または妻)も忙しく、両親も遠く、時短勤務しかできない。病気の預けられない。
- ✓ 近い距離の保育施設でないと同立が難しい(毎日の送迎、発熱、授乳など)。
- ✓ 敷地内のわかくさに入所できない場合がある(短時・下野市以外の居住者は入所しにくい)
- ✓ 同僚に迷惑をかけているという罪責感。自己肯定感低下。キャリアアップあきらめる。
- ✓ 育児に関する経済的な負担が大きい。

### わかくさ保育園(下野市私立保育園)

下野市の私立認可保育園  
下野市在住で2号・3号の認定を受けた子供の入院  
令和3年4月から定員を60名から75名に増員

0歳児	15名	1歳児	15名	2歳児	12名
3歳児	14名	4歳児	12名	5歳児	7名

### 育児支援 保育ルーム あいりす

対象：自治医大職員  
ルーム保育：20時まで延長保育  
病児保育：陰圧ルーム2箇所  
夜間保育：15時～翌朝10時

委託業者(株) 日本デイケアセンター

保育サポーター制  
マンツーマンの保育・保育士、看護師と協力  
保育サポーター 研修を受けた地域の方  
1時間：利用者負担 500円 大学負担200円

## ② コロナ禍での育児と仕事の両立

循環器内科学/小形 幸代先生 (アドバイザー)

### コロナ禍での 育児と仕事の両立

自治医科大学 循環器内科 小形幸代

### コロナ禍で変わった日常

- ▶ 子どもの保育園・学校が突然の休園・休校  
預け先の確保。学習の遅れ。
- ▶ 登下校の時間が度々変更  
時差登校、早帰りなどの対応。
- ▶ 学校での感染報告、濃厚接触者になる？  
夜遅い時間のメール通知で、翌日が不安。
- ▶ 緊急事態宣言でオンライン授業へ  
集中力が持続しない。低学年はサポートが必要。
- ▶ 友達と自由に遊べない  
子どものストレス発散はどうする？ 運動不足。

### コロナ禍で変わった日常

- ▶ 休校中の預け先の確保  
学童、祖父母へ連絡。お弁当が必要になることも。  
送り迎え。親がお休みする。
- ▶ 家族がコロナ感染になった時のシミュレーション
- ▶ オンライン授業のサポート  
機器の接続、授業の補助
- ▶ 親が子どもの遊び相手

### オンライン授業のメリット

- ▶ 通学の必要がない。
- ▶ オンデマンド形式では、何度も授業を再生できるため、見直して復習に役立つ。
- ▶ 授業のペースについていけなくても、授業動画は自分のペースで学習できる。
- ▶ わからない場合は、その場でネット検索したり、辞書を引いたりできるので、学習効率が良い。
- ▶ 対面での授業で発言するのは躊躇してしまうこともあるが、チャット機能で対面授業よりも活発に発言や質問ができる。

### オンライン授業のデメリット

あくまで代替授業

- ▶ 自主的に行わないと課題がたまっていく。
- ▶ 一方向性になりやすく先生が生徒の理解度を把握できない。
- ▶ 生活習慣が乱れる。
- ▶ 集中力を維持できない。
- ▶ 通信環境に左右されやすい。
- ▶ 同じ姿勢で画面に向かってるので、  
目の疲れや肩・腰に負担をかけないか心配。

### コロナ禍での育児のストレス

- ▶ 人に会えない密室育児
- ▶ 周囲に“頑張りすぎている自分”に気づいてもらえない。
- ▶ 自分が頑張りすぎていることに気づけず、ストレスがどんどん溜まる。
- ▶ 溜まったストレスが子どもへ向かう危険。
- ▶ 頑張りすぎている自分に気づいたら、そういう自分を手放してみる。
- ▶ 手抜きをする勇氣。

## 3. 自己紹介及びフリーディスカッション (※主な感想、意見等)

### 【医師・研究者キャリア支援センターのとりくみについて】

- 子育てに関して支援をしようという取り組みがされていることが良く伝わってくる内容であったので、こちらのモチベーションもこれからがんばろうという気にさせられるもので良かった。
- 子どものサポートだけでなく、子どもを見る保護者のサポートも必要だと思った。
- 仕事に復帰するための支援ももちろんであるが、キャリアアップの支援もあると有難いと思った。

### 【コロナ禍の育児について】

- 小学校低学年のオンライン授業というのは親の関わりがすごく大変なんだなと思った。また、家で見られる人は良いが、学童などに行ってしまうとなかなか手厚いことはできないので「学

び」の差が生まれる可能性もあり、そういうことも考えないといけないのかなと思った。

- ネット上の掲示板のようなものに、育児や家庭の困り事を書き込んで、それを見た方が「こうするといいんじゃない」みたいなことを書いてくれると良いのではないかと思った。

#### 【育児支援について】

- 子どもが来年から小学生になるのでいろいろと不安がある。小学生になってからでも使えるサポートも何かあると良いと思った。
- 自分が子育てをしているときにはまだ自治医大に病児保育がなく、市の施設に預けていたが、今は大学の中にあるというのは非常に有難いことだと思っている。
- 保育園も例年夏休み明けから大体一杯になってくるが、人口の多い自治体では既に抽選になっているという話を聞いた。やはり、9月から3月、特に1月から3月は入りづらくなるのが多くなるので、院内保育園のニーズは高いのではないかと思う。
- わかくさ保育園も定員を増やしていただいたので、現状では下野市外の職員も入所できているようであるが、9月以降も入所できるかどうかを見守っているところである。

#### 【病児保育について】

- 病児保育は働く人にとって非常に大切に、要望を出そうとしていることが実現されると本当に良いと思った。病児保育が良い方向に行けば、医師だけでなく看護師さんも働きやすくなるのではないか。
- 自治医大の病児保育に関しては、某自治体の施設と比較すると、受入れの基準が厳しく(熱が39℃まで、こういう病気は不可等)預けられる児童の範囲が狭いので、ちょっと使い難いと感じている。施設を充実することによって受入れの範囲が広がると有難いと思っている。
- そのへんのことについては感染制御部の先生にも意見を聞いてみたいと思う。
- 受入れの基準については各施設ごとにその施設の事情で決めている。自治医大の院内の施設であれば、医師がすぐ駆け付けられるという利便性を生かして、かなりハードルを緩くして利用者が困らないように出来たらよいと思う。
- 自分は何度かこの病児保育を利用しているが、一対一の保育で、しかも個室でかなり細かいところまでメモを取っていただけなのでとても満足している。感染対策について、感染制御部の先生に見てもらうのは的確なアドバイスがいただけると思うので大変良いことだと思う。
- 医師以外の職種の病児保育の利用者が少ないのは金額の面もあったと思うが、今年度から値下げしたので、その辺の広報は必要かもしれない。